

# パブリックコメントの実施結果について

「鳥羽駅周辺エリア2040将来ビジョン(案)」に関するご意見の内容と市の考え(回答)について

○実施期間 令和7年12月16日から令和8年1月13日まで

○受付人数(ご意見の数):7名(8件)

番号	ご意見	対応方針
1	<p>周りの観光施設に対して、駐車場の駐車台数受け入れが少ないので、駐車場の立体化と、それに伴う駅から、マリントーミナルまでの雨風避けの遊歩道の整備をお願いしたい。出来るなら、鳥羽マルシェの付近に、市営定期船の発着場にして、ミジュマル公園と現在のマリントーミナルは、イベント会場として、鳥羽市の文化発表会の会場に変更する方が良いかも。後、駅前には図書館や島の若者が通って、働ける場所を作りたいです。</p>	<p>ご指摘の通り、来訪者のために適切な駐車場規模を確保することは重要事項と認識しており、今後検討して参ります。駅からマリントーミナルまでの地上動線の在り方については、引き続き検討して参ります。本市としても、若い世代が市外へ流出することは課題として認識しておりますので、その対応策については引き続き検討して参ります。</p>
2	<p>「国土調査」の予算づけを早急にしてください。(令和8年度から人員を倍増してください。)駅前を再開発するのなら、付加価値をつけて資産価値を上げる為にも、境界線の確定させてください。ご存じですか？事前復興準備にもなる事を。相続登記義務化がされたのに、鳥羽の中心市街地は土地の境界線が決まっていない土地が大半です。予算がないなら、県や国に要望してください。人手が無いならば、境界のプロである土地家屋調査士会へ協力を要請してください。再開発とは名ばかりに、上っ面だけ綺麗にするつもりですか？臭い物には蓋をするのですか？公助に限界がある事は十分にわかっています。しかし自助、共助の芽を摘まないでください。境界を確定させる事が、どれだけ住民の自主防災力、地域防災力を高めるかわかりません。費用対効果がどれだけあるのかわかりません。しかし少なくとも都市計画税を払っている恩恵は感じられます。都市計画区域外から進める国土調査、道路の整備に大きな違和感を覚えます。違和感を乗り越え強烈な嫌悪感を抱きます。ピンチはチャンスである。それと同時にチャンスはピンチでもある。この駅前再開発を機にどう転ぶのか正念場です。それだけの強い意志と覚悟をもってもらいたいと願っております。立地適正化計画と都市計画マスタープランとの互換、補完をする形で、この計画を進めていくことと思いますが、適宜の見直しをはかってもらいたいと思います。間違った事は、素直に認め、適宜修正をはかるのは当たり前です。常にアンテナを高く伸ばし、世の情勢を掴み、知識や情報を更新していく大切さを肝に銘じてください。人が多様化しているのは当然であるように、求められる街並みも多様化しています。ニーズだけでなく、シーズも意識してください。バイアスがかかった偏見は捨ててください。男女共同参画社会の実現、マイノリティー優遇政策は大いに結構、支持します。しかしマジョリティーをないがしろにしても良いわけではない事に十分に留意してください。それらを意識した街づくりに大いに期待しております。</p>	<p>ご指摘のとおり、計画の適宜の見直しは非常に重要と認識しております。関係計画との整合を図りながら、市民の皆様の潜在的なニーズにも意識したまちづくりを進めるとともに、国土調査を含めた個別施策の方針については、必要に応じて検討を進めて参ります。</p>
3	<p>P.13 鳥羽駅周辺エリアの課題として、空き家問題、各種災害に起因するハザードマップの事が触れられているが、都市計画上の用途地域の見直し、防火地域の策定といった、付加価値を生み出すような方針も必要ではないか？もちろん鳥羽市単独ではなく、三重県との足並みを揃える事も必要であるが、伊勢市駅前の再開発のように単に再開発を行うだけでなく、準防火地域の策定により建蔽率が90%の上限となる事など、あらゆる角度から、よく制度の理解が必要ではないか？空き家問題も単に、所有者の問題ではなく、接道義務の満たせていない土地、隣地境界線が未確定の土地、相続登記未了の土地など、法的根拠に基づいたもっと根幹にある問題の理解が必要なのではないか？問題を問題とっていない事が問題であり、問題への解決は問題発見から始まる事を意識してほしい。</p>	<p>本市では、本ビジョンの検討と並行して、令和6年度から鳥羽市都市再生協議会を組織し、鳥羽市立地適正化計画の策定に取り組んで参りました。ご指摘の都市計画の在り方や空き家対策等については、立地適正化計画等の関係計画や市民ニーズ等を踏まえながら、必要に応じて、検討を進めて参ります。</p>

番号	ご意見	対応方針
4	<p>「次世代への継承の難しさと、届いていない魅力」について、(1)「高校生や若者の調査」では鳥羽に戻りたいと答えた人が少ないとあります。生活や仕事の選択肢の少なさとありますが、伊勢市や志摩市と比べて鳥羽市が劣っているのはやはりチェーン店の少なさだと感じます。個人飲食店は鳥羽の食材を用いて観光客や大人には愛されていますが、子ども格式が高い店には行きにくいと感じます。ファミレスやチェーン喫茶店など学生が利用しやすい場所に利用しやすい店がないから鳥羽には帰りたくないと思ひ、鳥羽を離れていきます。現代ではインターネットが普及し服や雑貨などはネット通販で買える世の中ですが、QOLの向上に必要なのは日々の友人との共有する場所であると感じます。良くも悪くも閉鎖的であるため難しいと思ひますが、<b>チェーン店などの誘致に関してはどのようにお考えでしょうか。</b></p>	<p>本市としても、若い世代が市外へ流出することは、課題として認識しております。そのうえで、鳥羽駅周辺エリアにおいては、掲げている将来像の実現のため、にぎわい創出を目標の一つとしているところ、関係団体等のご意見を賜りながら、ご指摘のチェーン店の誘致を含め、総合的に検討していく必要があると考えています。</p>
5	<p>「若者が考える鳥羽の未来」について参加したかったのですが、ギリギリ年齢外でした。<b>(1)「多言語表示」に関しては英語のみの表記を増やすべき</b>と考えます。多言語表示は多言語表示する故のメリットがありますが、鳥羽市には外国人来訪客の少なさ(三重県がインバウンド少なめ)であることや、簡体字・繁体字・ハングル・英語・日本語のように様々な表記にするとそれぞれの文字の面積が少なくなることがデメリットとして挙げられます。<b>そのことからメリットよりデメリットのほうが大きいと感じます。これについてどのようにお考えでしょうか。</b>(2)キャッシュレスについてですが、鳥羽市歴史文化ガイドセンターではキャッシュレスを導入していません。その理由に高齢化、操作の複雑化、導入後の費用対効果などがあげられます。キャッシュレスは手数料がとられることもあり、初期投資の補助金支援では継続はむずかしいように考えます。しかしながら、継続的な補助金も鳥羽市に対しての費用対効果を考えればあまり好ましいものではないため不可能であると感じます。<b>キャッシュレスに対する対応をどのようにお考えでしょうか。</b>(3)ハラルに関しては厳格なルールのもとで料理しなければならず、単に豚を使わなければいいというのではないのですが、これを<b>ハラルでできますという飲食店は認識できるのでしょうか。</b>(4)交通拠点の利便性向上に関して電動スクーターは導入すべきと感じますが、原付、自動車を運転する身からすると大変危険にも感じます。自分は原付の運転の際は大通りを通らないや車が後ろに来たら少し広めの路肩に避けるなどをしてはいますが、そのような<b>他の車両群や歩行者などに対するルールや区画整備はお考えでしょうか。</b>以上です。(鳥羽1丁目にあります鳥羽歴史文化ガイドセンターの鳥羽ガイドボランティアなどをしてはいます。以前この鳥羽駅周辺エリア再生ビジョン策定委員会の案内があり断ってしまいましたが参加することは可能でしょうか。ご検討のほどよろしくお願い申し上げます。)</p>	<p>(1)多言語表示については、ご指摘の通り必ずしも多言語表示とすることが望ましいとは限らないと考えます。いただいたご意見も踏まえ、今後の案内表示等の検討を進めて参ります。  (2)キャッシュレス導入の必要性に関しては、海外から本市に移住された方から頂いたご意見です。キャッシュレスの導入が、来訪者へのサービス向上の1つではありますが、導入の必要性については各施設におけるニーズに応じて個別に判断する必要があると考えます。  (3)ハラル対応及びその表示については、各飲食店舗の責任のもとで実施するものと考えます。  (4)電動スクーターを含めた二次交通体系については、並行して策定している地域公共交通計画の施策として検討を続けていくことを位置付ける予定としています。そのうえで、ご指摘のルールや区画整備等については、必要に応じて、検討してまいります。  (策定委員会への参加可否については個人的なご質問のため、この場での回答を控えさせていただきます。)</p>
6	<p>沿岸域においては管理者や制度が複数またがる中で、あくまで駅周辺とは位置付けられつつも海とは切っても切り離せない鳥羽市において、今回パブコメ募集中の各種計画との整合制やシナジー効果を大なり小なり感じるビジョンという印象です。さらなる発展のためにも、<b>漁協はもとより、各関係省庁の施策との連携、予算の確保に向けたビジョン化についてご検討いただければ幸甚です。</b>また、せっかくの機会となる割には、経済効果をそこまで見込めなさそうなのが残念です。集客を望むのであれば、周辺の鳥羽水族館やミキモト真珠島との接続はもとより、ゾーニング、日帰りでも宿泊という部分はもとより、多様な利用形態と交通のアクセスを見込んだ利用者の確保は必須と思われませんが、少しまだ視野が狭いような印象を感じるのが少しもったいないかもしれません。岐阜にある「河川環境楽園」や、和歌山県白浜の「とれとれ市場」の鳥羽市版ができれば、それらを超える魅力があるのに…などと考える次第です。ご検討くださいませ。</p>	<p>ご指摘の通り、本ビジョンの実現に向けては、適切な関係省庁との調整・連携を進めることが重要と考えております。加えて、近年の旅行者の旅行スタイルの多様化を踏まえつつ、国内外の観光市場や商業施設の事例も参考に検討して参ります。</p>

番号	ご意見	対応方針
7	<p>離島住民のニーズとして、日用品が手にはいる場所があることは書かれていたのだが、医療関連の言及がなかったかと思う。定期船の待ち時間を有効利用するためには、調剤薬局があって欲しいと思う。駅周辺に薬局があることは、観光客にとっても安心に繋がる。P.19,20に書かれていた、エリアでの過ごし方が分かりやすかった。本格的な少子化の時代には、乳幼児からハイティーンまでみんなが安心して集える場所があるといいと思っているので、最後の例に挙げられているような空間になったらいいと思う。若者たちの意見は、今後も定期的に聞き取って欲しい。新たな施設を作ることは、施設の良い点も悪い点も次世代に引き継ぐことになる。彼らが「こんな施設よりも〇〇が良かった」と言わずに済むようにしていく必要がある。</p>	<p>施設の用途に際しては、離島住民の皆様のニーズも把握しつつ検討して参ります。 引き続き、鳥羽駅周辺エリアの将来を担う若い世代の皆様のご意見を積極的に取り入れる場を設けて参ります。尚、本ビジョンの策定に際しては若い世代を対象としたワークショップの実施しております。結果について以下もご覧ください。 (参考資料) 若者を対象としたWS結果報告（第8回検討部会 資料1） <a href="https://www.city.toba.mie.jp/material/files/group/2/tobaekipj_kento8_youngwskekka.pdf">https://www.city.toba.mie.jp/material/files/group/2/tobaekipj_kento8_youngwskekka.pdf</a></p>
8	<p>海水に直に触れられるような構造があると良いと思います。イルカの噴水前あたりに幼稚園～小学校低学年程度の子どもが海洋教育プログラムの場として利用できるような構造で、例としては大阪のりんくう公園 (<a href="https://www.google.com/maps/@34.4122817,135.2947787,3a,75y,253.45h,84.71t/data=!3m7!1e1!3m5!1s6fE0vPJezmhrUMctQPaH2Q!2e0!6shttps:%2F%2Fstreetviewpixels-pa.googleapis.com%2Fv1%2Fthumbnail%3Fcb_client%3Dmaps_sv.tactile%26w%3D900%26h%3D600%26pitch%3D5.286477031563535%26panoid%3D6fE0vPJezmhrUMctQPaH2Q%26yaw%3D253.44526420017368!7i13312!8i6656?entry=tту&amp;g_ep=EgoyMDI2MDEwNy4wIKXMDSOASAFQAw%3D%3D">https://www.google.com/maps/@34.4122817,135.2947787,3a,75y,253.45h,84.71t/data=!3m7!1e1!3m5!1s6fE0vPJezmhrUMctQPaH2Q!2e0!6shttps:%2F%2Fstreetviewpixels-pa.googleapis.com%2Fv1%2Fthumbnail%3Fcb_client%3Dmaps_sv.tactile%26w%3D900%26h%3D600%26pitch%3D5.286477031563535%26panoid%3D6fE0vPJezmhrUMctQPaH2Q%26yaw%3D253.44526420017368!7i13312!8i6656?entry=tту&amp;g_ep=EgoyMDI2MDEwNy4wIKXMDSOASAFQAw%3D%3D</a>)のように天然の海水が流入するビオトープのような構造で、トイレ、足洗いシャワー等の設備が併設されていることが望ましいと思います。観光客向けも重要ですが、地元住民が最大限恩恵を受けられるような場が良いと思います。</p>	<p>海と触れ合える環境は鳥羽市の魅力であると認識しております。いただいたご提案も参考にしつつ、計画を検討して参ります。</p>